三和新報

THE SANWASHIMPO

11月7日（月曜日）

第465号（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

日刊（日曜・祝・祭日を除く）　購読料1カ月 50円

発行所 三和新報社 平市田町 電話1053

家具と漆器 あるか家具店 平市 電話 223番

きのう、絶好の秋日和

☆☆☆

内郷炭礦街で実子殺し
浮気な妻にカッとして兇行
三角関係が生む社會悲劇

五日夜内郷市の密集した炭鉱長屋で不身持な妻のためやけくそになつて酒を飲んだ炭鉱夫が、夫・婦喧嘩の末まだ幼い女の子をしめ殺すという実子殺し事件があつた。

五日午後十一時四十分ごろ内郷市高坂字御殿一常磐炭鉱住吉砿採炭夫太田正男(三三)は自宅八畳間に寝ていた二女百美子ちゃん(三)を両手でしめ殺し、兇行に狂つた太田が戸外に出てくらやみの中で「百美子を殺した、馬鹿野郎、ミエ子の馬鹿野郎」とわけもわからぬことを絶叫しているのを近所の人達がきき、驚ろいて内郷署住吉巡査派出所に急報、後藤巡査が、現場に急行し、自宅前にウロウロしていた太田を殺人現行犯で逮捕した。

殺された百美子ちゃんは六日午後から平市竹林病院で解剖、内郷署の冷い留置場で一夜を明かした太田は「妻が憎いため子供を殺した俺は馬鹿だつた」と涙にくれていた

内郷署で原因取調べ中だが、正男は宮城県伊具郡藤尾村藤田八六の生れで、戦争中に同村生れの女と共に満洲に渡り次男君(六)を生んだが、戦争後に女と生き別れして次男君を連れて郷里の藤尾村に引揚げ後、昭和二十一年に常磐炭鉱住吉鉱に採炭夫として就職、同二十二年ごろ幼なじみの美恵子さん(三)を妻として迎え、連れ子の次男君のほか、長女良子さん(六)二女百美子ちゃん(三)をもうけたが今年の八月ごろから浮気性の美恵子さんは魔がさして付近の同鉱住吉鉱採炭夫伏見喬さん(三四)といい仲となり。去る十月三十一日夜、市内山神様境内で喬さんと逢引きしているのを正男に発見され怒られた美恵子さんは東京の実母のところへ逃げ出ししかも三日にはまた舞いもどるなど、無責任な態度に、夫婦の間にごたごたの大騒ぎをするなど、正男は「こんな生活はイヤだ、一そのこと死んだ方が増だ」とぐちをこぼし、付近の人たちも、度々のことでもあり余り仲介に入つてくれる人もないありさまであつた。このため正男は、家庭を放任して情夫と遊び歩く美恵子に嫉妬し犯行の晩も遊び放けて酒を呑んでぐてん、ぐてんに酔ばらつてきた美恵子に腹をたてて喧嘩となり、カツとして面あてに八畳間に寝ていた百美子ちゃんを締め殺したものと見られる。

百美子ちゃんの悲しみに泣く
太田に減刑署名運動

人家密集している現場の高坂御殿炭鉱長屋は、この事件発生前の夜も日頃から浮気な美恵子さんのことから夫婦ごたごたが絶えなかつたため、何時ものことかと知らぬ顔をしていたが、始めて愛児殺しを知つた時、いまさらのように何故にこの事件が起つたのだろうかと、死んだ百美子ちゃんへの哀しみと共に、同情を乗り越えた正男さんへの憎しみ、そしてまた長屋のお神さんたちは「正男さんはほんとうに良い人だつた。美恵子さんが色男などつくつてあんなマネをしなければこんな事件も起きなかつたのに」と同性への憎しみが爆発、同炭鉱労組支部では減刑嘆願運動の準備を進めている。以下関係者の話。

罪なことだ

◇頼まれ仲介のKさん談＝同県人のよしみで正男さん夫婦とは親戚同様の付合いをしておりました。昭和二十三年に美恵子さんと一緒になりたいと言つて来た正男さんの頼まれ仲介をして結婚式の時も世話してやつたり無理に今の住宅に入れるように骨を折つてやつたそれなのに美恵子さんは道路ですれちがつても挨拶もしないような女だつた。正男さんとは付合つていたが、美恵子さんとは全然付合つていませんでした。家の家内は百美子ちゃんは可哀想だと泣いていた。全く正男さんは罪なことをしたものだ。

真面目な男

◇近所のTさん談＝事件のあつた五日夜十二時ごろだつたでしようか。正男さん夫婦が喧嘩をして大騒ぎしたあと、ちよつと心配だつたもので、外に出て聞いていたら美恵子さんが泣き声で「百美子ちゃん、ごめんなさい、こんなことになつたのもみんなお母さんが悪いのよ、許して！」と、とぎれ、とぎれにすすり泣き声で、かすかに言つているのを聞きました。朝になつて百美子ちゃんが殺されたのを知つて。どうして可哀想なことをし出かしたもんだと、私も貰い泣きしました。全く美恵子さんは派手好みだつた。太田さんは酒も飲まない働き者なのに可哀想なことをしました。

浮気な女

◇近所のHさん談＝美恵子さんは近所でも評判の浮気ものでした。二、三度正男さんに色男と逢いびきしている現場を見られているらしかつた。あの晩（凶行のあつた夜）十時五十分ごろ美恵子さんが酒一升をぶら下げて自宅を出ていき、ぐてん、ぐてんに酔つぱらつて帰つてきたのが、十一時三十分ごろでしよう。それからドタン、バタンと美恵子さんが「許して、許して」と叫んで座敷をドタ、ドタ逃げまわり泣きワメク声がしました。それから静かになつたので私たちも寝ましたが、その間に起つた事件なのでしよう。百美子ちゃんは可哀想だが。出来ることなら正男さんの罪を軽くしてやりたいものです。

罪は憎む

◇常磐炭鉱住吉鉱南区好人会某幹部談＝原因は人妻の浮気にあるらしい、人妻が、しかも二人の子供の親としていくら恋愛が自由な世の中だとはいい、家庭を破壊するようなことはよくありませんね。私だつて、もし夫を他の女に取られたとしたら、それは、それはカツトなりますわ。変していればこそ腹立つのですがその憤りを子供にまでもつてゆき、しかも殺してしまうなどとはあきれた男としか思われません。実に浅はかなことです。私は加害者も、浮気な人妻も、この罪を生んだ人として憎くみても余りあります。

事件の夜、伏見さんも居た

事件の夜、興奮している伴の喬さんから事情を聞いた母親千代さん(四七)の話によると「十時ごろ喬が二番方が終つて北区世話所の付近を通りかかつたとき、正男さんから、話したいことがあるから自宅まできてくれ、と呼びとめられて行つてみたところ、正男さんも、美恵子さんもその時相当酒を呑んで酔つぱらつており、喬さんにも呑めと進めたそうだが、話を先きにしてくれと、いつたところが、口を入れた美恵子のため夫婦の口論となり、正男は長女良子さんの首を締めて殺してやると言つたのでたかしらが引きとめたところ、正男さんはあばれ、たかしの右手首にかみついた。更らに二女百美子ちゃんの首も締め子供を殺して俺も死ぬとあばれるのでたかしは〝俺の面〟あてにそんなことをやめてくれと言つて飛び出してきたと言つておりました。その後十二時ごろ泣いて美恵子さんと従姉の間柄の平市田町の五らくのマダムきみ子さんと連れ立つて、正男がきていませんか、ときいたが、きていないといつたらすぐ引返してゆきました。そのあと隣近所の噂で事件を知りましたが、伴は美恵子さんから押掛け女房みたいに、何時も家に来ていましたが、全く飛んだ迷惑をしました」と暗然と語つていた。

なお近所の話ではたかしさんには一年ほど前に結婚して別れた女があつた。

湯の岳に百町歩植林

常磐市農林委員会はこのほど十時から湯本公民館に開き、五カ年計画で藤原湯の岳に百町歩の杉苗植林、藤原川鶴巻堰施工（工費百万円）などについて協議し、原案通り可決した。

今晩のラジオ

◎NHK第一放送
六・〇〇＝子供のシンブン
六・二五＝新諸国物語「オテナの塔」
六・四五＝郷土物語
七・三〇＝三ツの歌
八・〇〇＝お父さんはお人好し
八・三〇＝浪曲節「もう一人の石松」
九・一五＝街頭録音「県政に望むこと」
九・四〇＝スリラー劇場「もう一つの影」
一〇・一五＝希望の星座
一〇・四〇＝新家庭読本
◎ラジオ福島
六・〇五＝空の向うに何がある
六・一五＝スイートコンサート
六・二五＝児童劇場「リボンの騎士」
六・四〇＝鞍馬天狗
七・一五＝連続ドラマ新選組
七・三〇＝君の歌僕の歌
八・〇〇＝演芸甘幸亭
八・三〇＝明利演芸会
九・〇〇＝日東紡アワー
九・三〇＝投資家サロン
九・四五＝民謡風土記
一〇・二五＝夜の希望音楽会
一一・〇五＝浪曲名調アルバム
一一・二〇＝フジオ演芸欄
◎平の菊人形放送
午前八・二五＝朝の案内
午後六・三五＝夕べの案内

今晩の映画（二一八）

☆泉楽館（七日まで）水玉の幻想　白鳥の湖　レヴュー誕生　スター誕生（六、三〇）
☆世界館　恐怖の十三夜　誘拐魔（七、二四）
☆平館　柔道開眼　若き日の千葉周作（六、五〇）
☆ひかり座　工事中に付休館
☆東映　幻術影法師（一、二部）　荒獅子判官（六、五〇）
☆民劇（九日まで）拳銃無宿　二ツの世界の男（七、〇一）
☆緑映劇（八日まで）はだかの島　風流三条から（六、五五）
☆第一いわき（十日まで）コレヒドール戦記　浅草の鬼（六、二〇）
①映画題名は上映順
②上映時間は夜の部

恋人を呼ぶ

常磐商工会議所アナ　松繁正子（21）

商工会議所ですから、出入りするのは商人、もうかつたの損したのと大人の世界のことですから職場の雰囲気にはうるおいがなくて、さみしいわ。それでも放送室だけでもみづみづしくしたいと思つて花などを飾つて工夫しております。私がここに勤めたのは二年前！。声にはそれほど自信はありませんでした。でも案ずるよりは生むが易いとかーだんだん馴れるにしたがつてマイクのつかい方も上手になりましたので、見苦しいような失敗はなくなりました。最初は不安でしたので、よくつまづき恥ずかしい思いをしました。意識すればするほどへんにまごついてしまつて、穴があつたら入りたいほどに泣き出したいこともしばしばありました。いまでは原稿なしでもまあなんとかできるようになりましたが、上手にやつてのけた時なんか、それは嬉しいものです。それでもまだまだ石城のナマリが思いがけなく出てしまうので、ラジオの民間放送の宣伝を聞いてアクセントやイロキュシヨンの勉強をしております。私たちが一番忙しいのは矢張り大売出しの時です。三十分交代なのですが、原稿が山となるのでどうしても時間内には放送できず、自然忙しくなり、随分早く放送しようと努力するのですが追いかけられて地金を出してしまうのです。しかし、大売出し以外の日は、それほど多忙ではないので研究的にやれますが、家庭で職場で面白ないことがあると、つい気分が声に反映するらしく、よく「今日の声はトゲトゲしい」なんて批判されヒヤツとすることがあります。何時も恋人に呼びかける声、これが私の放送の気分ですホホホー。一日のうちで原稿がたまるのは午前十時、この時は大いに張切つております。

午前10時

11月1日▼25日　いわき高工菓まつり　菓人形展　平市駅前大通り広場

和洋食　出前迅速　富士食堂　平市聚楽館通り　電話五六一番　六七七番

金物専門店　久野金物店　平市三丁目（駅前大通り）　電話一一四八番

有限会社　馬目染物店　平市五丁目一　電話五五八番

観光銘菓　桃の井　金沢屋

祖国　地下足袋　長運動靴　足袋靴　本店